五代の子



五代小　学校だより
令和８年１月１５日
宇都宮市立五代小学校
校長　林田　浩二

合言葉「かしこく　やさしく　たくましく　礼儀正しい五代の子」

飛躍する「午年」に

明けましておめでとうございます。2026 年がスタートしました。今年は「午年」です。馬は「行動力がある」「真っすぐ進む」などから「成功」「飛躍」の年と言われています。五代小の子供たちも大きく成長できる一年になることを期待しています。

新年が始まったばかりですが、学校の一年では「まとめ」の時期です。次の学年に向けて、今の学年でやり残しがないように「生活」と「学習」の力を身に付けられるといいですね。

また、「感謝の会」や「６年生を送る会」「卒業式」などの行事も計画されています。一年間の感謝の気持ちを伝えられるような心のこもった会にしていきたいと思います。

今年も学校教育に対するご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

＜冬休み明け朝会、校長の話＞

1/8（木）の朝会では TV 放送でこんな話をしました。

- 午年は「成功」「飛躍」の年。どんどん自分を成長させていきましょう。
- １年間のまとめ「生活と学習」。自分の学年の階段をきちんと登れていますか？
- 「クラスの目標」「自分の目標」を振り返り、３月までの目標を立てよう。
- 「どうして勉強しないといけないの？」「勉強って何の役に立つの？」に対する回答
  学校で学ぶ意義　→　「なりたい自分になるため」「人生をより豊かにするため」

学校での「学び」は、今の時代だからこそ

昔と今で、学校での学びの様子は、時代の変化とともに大きく変わってきています。

一人一台のタブレット端末が配られ、ICT 機器を活用した授業が展開され、ALT の先生と英語を使って学び、自ら課題を見付け、個に応じた学習を進める「個別最適な学び」など…やり方はどんどん変化しています。

しかし、昔から変わらないのは「集団で学ぶ」ということです。

単に学力だけが高くなればいいのであれば、家でも塾でもいいし、タブレットを使った AI 学習で個人の能力に合った学習を進めた方がいいと思います。それでも学校では昔も今も学級（クラス）という「集団」で学んでいます。それは、学校は学力を高めるためだけではなく、「生きる力」を学ぶ場所だからです。

・運動会や遠足などの行事　・係や当番活動　・グループで食べる給食　・共同作業　などなど…

さまざまな体験活動を通して、子供たちは「人とのかかわり方」を学んでいきます。ときにはけんかをしたり、友達関係で悩んだりすることもあるかもしれません。しかし、それも成長の過程で大切なことなのです。

五代小学校では「かしこく　やさしく　たくましく　礼儀正しい五代の子」を合言葉に、学校教育目標である「豊かな心と健康な体をもち、知性と創造性に富む実践力のある子供の育成」に努めています。

学校・家庭・地域が連携して五代の子を育てていきたいと思いますので、引き続きご協力をお願いします。

五代小学校では、保護者や地域の方々に学校の様子を知っていただくために、学校ホームページ「日誌（学校の様子）」に、ほぼ毎日写真や動画で情報を発信しています。ぜひご覧いただいて、学校での元気な子供たちの様子を見ていただければと思います。

五代小学校ホームページはこちらから→

- 学校から見た初日の出は１月１日、冬休み明け朝会の校長の話は１月８日に動画が掲載されています。

